



平成 26 年 11 月 6 日

各 位

会 社 名 日本海洋掘削株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 市川 祐一郎
(コード番号：1606 東証第一部)
問 合 せ 先 広報・IR室長 谷内 正彦
(TEL. 03-5847-5862)

第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ

平成 26 年 8 月 6 日に公表しました平成 27 年 3 月期の第 2 四半期連結累計期間(平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 3 月期の第 2 四半期累計期間の連結業績予想値と本日公表の実績値の差異
(平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	14,804	△687	173	448	24.86
実績値(B)	13,861	934	2,755	2,136	118.69
増減額(B-A)	△943	1,621	2,582	1,688	
増減率(%)	△6.4%	—	—	376.8%	
(ご参考) 前期第 2 四半期累計実績 (平成 26 年 3 月期)	21,975	5,988	6,246	4,090	227.24

2. 差異の生じた理由

当第 2 四半期累計期間において、「ちきゅう」の次期商業掘削工事開始時期が、第 3 四半期にずれ込む見通しとなったこと等から、売上高は前回予想を 6.4%下回る 13,861 百万円となりました。

営業利益は、「HAKURYU-5」の造船所工事関連費用発生が第 3 四半期にずれ込んだことによる売上原価の減少他により、前回予想から 1,621 百万円増加し 934 百万円となりました。

経常利益は、円安の進行により為替差益を 734 百万円計上したこと等により、前回予想から 2,582 百万円増加し 2,755 百万円となりました。

四半期純利益は、法人税等が税金等調整前四半期純利益の増益に伴い約 869 百万円増加したこと等により、前回予想を 376.8%上回る 2,136 百万円となりました。

以上